

NTT-X

## 「goo」から企業へ検索サービス拡大

「Media X Solution」をコンセプトにビジネスを展開するNTT-Xは、Webの検索だけではなく、イントラネットをはじめとする企業内の文書データ等の効率的な検索、活用を実現するソリューションサービス「goo DATA Search Solution」の提供を開始した。

企業のIT化が急激に進行する一方で、電子化された膨大な文書データが社内ネットワーク上に散在し、多くの企業がその管理と運用に苦慮している。

また、インターネットの急速な普及に伴い、多くの事業体が顧客に対する情報提供や自社商品・サービスの電子商取引を目的にWebサイトを構築しているが、充実したサービス提供を目指すほど情報数や商品点数が大規模化し、Webサイトへの来訪者がほしい情報を探しにくくなっているという問題も生じている。

そうしたことから、社内情報の効

率的な活用と顧客ソリューションの充実を図るため、「高速な検索サービス」に対する要望が高まっているのだ。

このニーズに対応するものが、2002年10月からNTT-Xが提供を開始した「goo DATA Search Solution」だ。同ソリューションは、NTT-Xが運営するインターネットポータルサイト「goo」の検索サービスで培ってきた技術、ノウハウをフル活用したもので、企業内および企業のWebサイトにおける大規模・大容量データを高速かつ高精度に検索できるものだ。



NTT-X  
ソリューション部  
ポータルソリューション  
営業担当  
浅川秀治担当部長

## 大容量データを高速検索処理

具体的な機能について見ていこう。

goo DATA Search Solutionの大きな特徴の1つが、1つのサービスで使用するインデックスを複数台のマシン上に保有して検索できる分散処理の実現により、50万件以上の大容量データへの対応を可能としている点だ。これにより社内共有ファイルデータの急増や、Webサイトのアクセス数の増加にも柔軟に対応できる。

また、100検索/秒を可能とした高

## DATA Search Solutionで設備投資抑制を実現

「goo DATA Search Solution」のファーストユーザーとなったのが、大手オークションサイト「BIDDERS(ビッターズ)」を運営するディー・エヌ・エー本社(東京都渋谷区、南場智子社長)だ。

同社は、ビッターズの運営のほか、ISP向けにオークションプラットフォームをOEM提供する「ビッターズECプラットフォーム」の保守・運営をビジネスとして展開し、市場で高い実績を獲得している。

99年に運営が開始されたビッターズは、商品点数60万品、会員数にして150万人を擁する国内第2位の大手オークションサイトであり、1日あたりのページビューも600万件に達している。

会員、商品点数が増加し、人気サイトに成長する一方で、ビッターズではWebサーバーの負荷が上がり、検索システムに遅延が発生するという問題に悩まされていた。ディー・エヌ・エー社長室の守安功室長は、「インターネットオークションでは出品、入札情報が登録される度にリアルタイムで検索エンジン

に反映されなければならない。情報の更新に遅延が発生したのでは、ユーザーの満足度を下げることになり、オークションサイトとしては致命的なダメージを受けてしまう」と語る。

これまで同社では、複数台のWebサーバー上にそれぞれ製品データと検索エンジンを同居させ、データの増加にWebサーバーを増設することで対処してきた。しかし、予測されるデータ増に今後もハードウェアの追加で対応していたのでは莫大な費用が発生してしまう。

そこでビッターズは、大容量データを高速で処理できる検索エンジンを導入することを決定、SIベンダー各社に提案依頼を行った。そこで出された条件が、ビッターズと同等の大容量テストデータを用い、シミュレーションサイトを構築して性能評価をするというものだった。この条件にクリアするとともに、最も高速な実績値をあげたのがNTT-Xだった。

守安室長は、「goo DATA Search Solutionが、私どもが求めていた性能要件を確実に満たしていたことに加え、NTT-Xの迅速

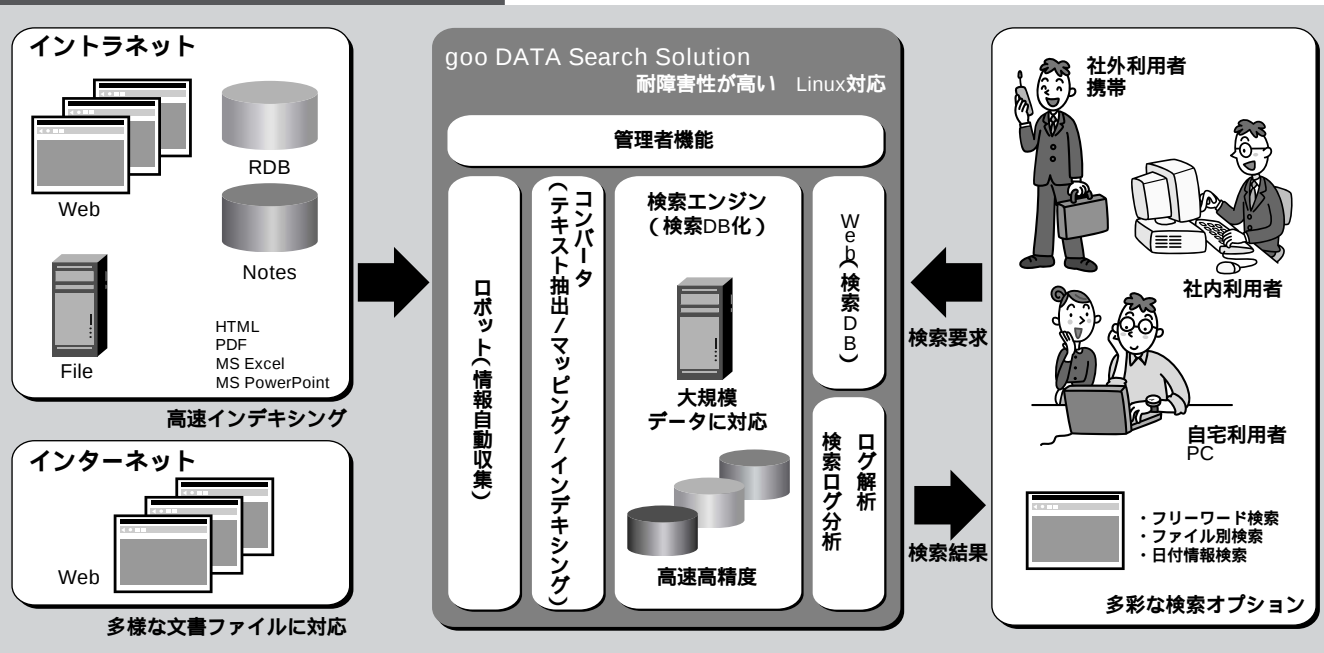


ディー・エヌ・エー社長室  
守安 功 室長

なサポート体制とgooを運営してきた実績、ノウハウが導入の決定打になった」と語る。

導入後の効果についても、「これまでは最大3時間もの遅延が発生していたケースもあったが、ほぼリアルタイムに商品の出品や入札情報が検索エンジンに反映されるようになった」。また導入コストの面でも「100万品規模にまで拡張した場合のコストを概算すれば、おそらく億単位の違いが出ていただろう」という。

## 図 DATA Search Solutionの概要



速検索、形態素解析を駆使した精度の高い検索処理を実現。AND、ORといった論理検索も用意するほか、検索語の適合度ランキング表示や、大量データの中から目的とするデータの的確なマッチングも行える。

さらに、多様な文書ファイルの形式にも対応している。HTMLをはじめ、PDF、MSWord、Excel、PowerPoint等、データ形式に応じたファイル検索が可能だ。

耐障害性の面でも、複数に分けて検索インデックスを保有できるので、一部のPCやプロセスなどに障害が発生しても、サービスを停止せずに迅速に復旧できる仕組みを備えている。

## 実績に基くサポート力が強み

高速処理を実現する検索エンジンは海外ベンダー製品を中心に国内で

も多数販売されている。

しかし、NTT-X・ソリューション部ポータルソリューション営業担当の浅川秀治担当部長は、他社製品とgoo DATA Search Solutionとは大きな違いがあると強調する。「パッケージシステムとしての高性能さに加え、私どもがgooで実際に培ってきた技術とノウハウ、サポート力は他社に対する大きなアドバンテージとなっている」。自らが検索サービスを運営してきたことで、システム全体を見据えた高精度かつ高速な検索システムの実現をはじめ、開発コストの抑制や予想される障害への対応等、ユーザーの視点に立ったコンサルティング、システム開発が行えるというわけだ。

こうしたNTT-Xの実績もアピールポイントとなり、ファーストユーザー

として大規模オークションサイト「ビッターズ」が同ソリューションを採用し、すでに運用を開始している。

goo DATA Search Solutionの適用範囲は広く、ポータルサイト、オークションサイトの製品・情報検索の用途のほか、コールセンター、社内イントラネットでの検索システム等、情報管理の効率化を要するさまざまなシーンでの活用を可能としている。

NTT-Xでは、goo DATA Search Solutionの今後の展開について、顧客固有のニーズに対応し、パッケージ販売のほかカスタマイズ提供、さらにはASPサービス等、さまざまな形態での拡販を進めていく構えだ。これらの施策により、2003年度末までに50件以上のユーザーに対して同ソリューションサービスの提供を目指す。